

〈鶴岡まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点施策〉 平成29年度新産業創出地域基盤事業

次世代イノベーション都市形成に向けた発展戦略(2016年～2020年)

世界最先端の研究を続ける慶應先端研とベンチャー企業を核に高度人材の集積と交流が生まれ
起業家とベンチャーが育まれる新たな仕組み・環境づくりの推進

鶴岡バイオクラスターの発展を基盤とする次世代イノベーション都市の形成に向けた
各種プロジェクトの展開



学術文化都市の形成・発展に向けた4つのプロジェクト

I. 世界最先端の研究を行う慶應先端研支援

- (1) 慶應義塾大学先端生命科学研究所教育研究補助金(第4期協定)
- (2) 国立がん研究センター研究所の連携拠点設置による研究活動の促進

II. ベンチャーの事業拡大に合わせた環境整備

- (1) 研究所発ベンチャー企業を核とした産業戦略展開
- (2) 民間主導によるサイエンスパーク計画の着実な推進・支援
- (3) 次世代子育て教育環境施設の整備支援、連携体制の検討(新規)
- (4) サイエンスパーク研究環境の整備支援(新規)

III. サイエンスパーク拡張を含めた新たな構想づくり

- (1) エリア拡張を見据えた鶴岡サイエンスパーク全体構想の策定(拡充)
- (2) サイエンスパーク整備済区域の研究環境強化に向けた調査研究(新規)
- (3) 健康・医療に関する研究成果などを活かした健康福祉都市の形成推進

IV. サイエンスパークを担う研究基盤の誘致育成

- (1) サイエンスパークの広報・交流活動の推進(新規)
- (2) 起業家・ベンチャーを志す若者などの人材育成
- (3) 地域農産物高付加価値化事業の推進
～「知」の集積と活用を活用した農と食のイノベーション研究拠点形成～